

令和4年10月28日

東京都歴史教育研究会会員 各位

東京都歴史教育研究会会長 関山 勝之
(東京都立葛西南高等学校長)
東京都歴史教育研究会副会長 南 和男
(東京都立武蔵高等学校・附属中学校長)

令和4年度 東京都歴史教育研究会秋季講演会のご案内

秋晴の候、会員の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素より本研究会の活動にご協力ご支援をいただき、厚く感謝申し上げます。

さて、標記の件につきまして、下記のとおり開催いたします。校務ご多忙の折とは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、ご出席下さいますようお願いかたがたご案内申し上げます。

記

- 1 日 時 令和4年12月10日(土) 午後3時から午後5時まで
- 2 会 場 東京都立武蔵高等学校・附属中学校
住 所 東京都武蔵野市境4-13-28
電 話 0422(52)4554
アクセス JR中央線「武蔵境」駅下車、北口より徒歩10分

3 講演会

- (1) 講 師 日本女子大学人間社会学部名誉教授 成田 龍一 氏

1951年大阪市生まれ。1974年早稲田大学第一文学部卒業、1983年同大学院文学研究科博士後期課程修了。文学博士。東京外国語大学、日本女子大学などで、30年余、教育・研究に従事したのち、2020年に退職。専門は日本近現代史、社会史。主な著作として、『戦後史入門』(河出文庫)、『近現代日本史との対話』(2冊、集英社新書)、『歴史像を伝える』(岩波新書)などがある。教科書編纂にも携わった。

- (2) 演 題 「歴史総合」と「日本史探究」

2022年4月から、新学習指導要領が実施され、新科目「歴史総合」が実践されている。近現代史を対象に、世界と日本の事象を総合し、「問い」を立てながら学習するという、戦後歴史教育の大きな転換となる科目である。

そうしたなか、次年度からは「日本史探究」科目も始動する。「歴史総合」を学習したあとに、どのように「日本史探究」を学ぶことになるだろうか。「問い」によって歴史に接近することを学んだ生徒たちは、どのような探究科目を望むことになるだろうか。このことは、「日本史探究」の科目としての理念をどのように考えるか、という点に関わっている。「歴史総合」に積みあげられる科目としての「日本史探究」について、「探究」の観点とともに、「日本」の考察という観点からも議論を提供したい。

【問合せ先】

東京都歴史教育研究会
事務局(東京都立武蔵野北高等学校)
事務局長 細川 貴之
電 話 0422(55)2071